

令和元年度

学校自己点検・評価報告書

1. 本校の教育目標・方針

● 教育目標

時代に流されない「こころの教育」と時代に先駆けた「学習指導」で自立できる、社会に必要とされる学生・生徒を育成する。

● 教育方針

- ① 素直で何事にも真面目に取り組める生徒
- ② 礼儀作法を身につけ責任を重んじる生徒
- ③ 心身共に健全で根気強く目標に邁進できる生徒
- ④ 他と強調でき、かつ独自の強い意志で行動できる学生
- ⑤ 創造的な思考、行動のできる学生

● 本年度の目標

高等部

- ① 基礎学力の定着
- ② 資格取得の促進
- ③ 協調性のある生徒の育成

専門部

- ① 自ら課題を発見する力の養成
- ② 進路の意識向上
- ③ 留学生の日本語力向上と出席率向上

2. 教育活動

| | 目 標 |
|----------------|---|
| 教務 基礎 検定 | <ul style="list-style-type: none"> ● 個に応じて編成される弾力的な教育課程、授業内容。 ● ひとつでも多くの学習指導が身につく丁寧な授業。 ● 生徒が授業に積極的に参加できる雰囲気をつくる。 ● 上級資格取得を目指させる。 |
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> ● 校則遵守の徹底により規範意識を高める。 ● 相手の立場に立った言動ができるようにする。 ● 携帯電話（スマホ）の学校内外でのルールを守った使用を促す。 |
| 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> ● 聴く力（理解力）を重視したコミュニケーション能力の育成。 ● 採用試験合格のための学力向上。 ● 進路アドバイザーやキャリアコンサルタントの適切な支援を受ける。 |
| 特別活動 | <ul style="list-style-type: none"> ● 部活動への参加者増を図る。 ● 自主的な活動ができるようにする。 ● 課外活動を積極的に実施。（専門部） |

3. 学校運営

| | 目 標 |
|--------------|--|
| 環境 安全管理 | <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急連絡網・ホームページによる連絡体制の整備。 ● モニタリングポストでの線量確認。 |
| 施設設備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化した施設・設備の更新、修繕。 ● 一般教室で行われる授業での環境改善。 ● 震災時前への復旧工事作業。 |
| 広報 生徒募集活動 | <ul style="list-style-type: none"> ● ホームページの更新、充実。 ● 公開授業、学校説明会の実施。 ● 中学、高校等への積極的な情報提供。 |
| 留学生支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 学生寮の環境整備・生活支援。 ● 日本語教育の強化と奨学金制度の創設。 |

4. 自己評価と今後の課題

| | |
|---------|--|
| 教務 | <ul style="list-style-type: none"> ● 個に応じたカリキュラムを組み、教員が丁寧な指導を心がけることによって、生徒が「わかる」授業を行うことができた。ただ、教科により能力差が顕著に出る教科は、より細かな個別体制が必要とされる。 ● 検定においては授業の成果も出て、個々人が多くの資格を取得することができた。 ● 年に数回、アートコミックコースに在籍する生徒のいわき市美術館見学を実施し、個々の作品作りに活かした。 |
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> ● 校則遵守の意識をしっかりと持たせることにより、校則に違反する生徒はほとんどいなく、指導により改善された。 |
| 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> ● 就職指導については進路アドバイザーの協力を得て、講話の実施、個別指導、就職面接会への参加などを行い、就職希望者に対してほぼ全員進路決定することができた。 ● 進学についても、進路相談をよく行い、各自希望する大学や専門学校への進学を決定することができた。 |
| 特別活動 | <ul style="list-style-type: none"> ● 部活動の参加人数は、やや低迷しているが、高体連・高美連には継続して参加することができた。 ● 本年度は、9月に2・3学年合同による北海道への修学旅行を実施し、各自在校時の特別な思い出を作った。 |
| 環境・安全管理 | <ul style="list-style-type: none"> ● 昨年同様、緊急な連絡体制も整備され、今後役に立てることができた。 ● 校内設置のモニタリングポストにより、リアルタイムで放射線量がわかり、毎日の安全を確認することができた。 |
| 施設整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 震災時前への復旧工事について、まだ着手していない場所について作業を検討していく。 ● 10月の台風被害による床上浸水の水害被害からの施設の復旧・整備を行った。 |
| 広報 | <ul style="list-style-type: none"> ● 昨年同様ホームページの更新も定期的に行うことができ、内容も充実させることができた。 ● 例年通りの公開授業・学校説明会を実施し、生徒募集を行った。 |
| 留学生支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 学生寮の内外を定期的に清掃し、環境を整備した。 ● 学校行事（遠足・スキー教室等）に対する経済的支援を行った。 |